技術・家庭科（技術分野）	第1学年	使用教科書・教材等	「新編　新しい技術・家庭　技術分野」 東京書籍	担当者	奥田邦弘

【学習の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成を目指す。

◎目指す授業は・・・聞く、話す、考える、行動することが自主的にできる態度を身につける。

- ○ 生活に必要な基礎的な技能と知識を身につけることができる。
- ○ 進んで生活を工夫し創造する能力を身につけることができる。
- ○ 積極的に作業をしたり、個性を最大限に活かした作品作りをしたりする実践的な態度を身につけることができる。

授業のときのアドバイス	家庭学習のときのアドバイス
実習が中心になります。実習をしていく中で必要な技能と知識を身につけます。 ○ 授業に集中して取り組もう。 ○ 生活と技術との関わりを考えよう。 ○ 学習したことを活かして、丁寧に最後まで作り上げよう。	○ プリントや教科書の内容を復習しよう。 （次の時間の製作の見通しが持てるようになります） ○ 学習したことを生活に活かそう。 （生活を工夫し創造する能力と実践的な態度が大切です） ○ 情報モラルなどがしっかり守れるように意識していこう。

学期	学習する内容	学習の狙い（身につけたい力）	授業で使うもの
1学期	技術分野ガイダンス ・情報セキュリティと情報モラル 1編　材料と加工の技術 1章　材料と加工の原理・法則と仕組み ・身の回りの材料と加工の技術 ・材料の特性 ・材料に適した加工法 2章　材料と加工の技術による問題解決 ・問題を発見し、課題を設定しよう ・製作品を構想し、設計しよう ・製図	○ 生活の中の技術の役割が分かる。 ○ コンピュータの基本的な使い方が分かる。 ○ 安心安全に情報システムを利用する方法が分かる。 ○ 材料の性質が分かり、製品に適した材料を考えることができる。 ○ 材料と目的とする加工に応じた工具や機器を選択できる。 ○ 製品の使用目的・使用条件を考え、構造と機能を考えることができる。 ○ 製作品の機能、構造、材料、加工法などを検討し、具体化できる。 ○ 製作に必要な図を描くことができる。	教科書 プリント 学校指定の体操服 その他
2学期	2章　材料と加工の技術による問題解決 ・作業手順に基づいた製作 けがき・切断・組み立て・仕上げ ・問題解決の評価、改善・修正	○ 基本的な工具を使用して、安全に正確に製作実習ができる。 ○ 見通しを持って、意欲的に仲間と協力しながら製作実習ができる。 ○ 材料と加工に関する技術について、活用方法を考えることができる。	
3学期	4編　情報の技術 1章情報の技術の原理・法則と仕組み	○ コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアの役割が分かる。 ○ 安心安全に情報システムを利用する方法が分かる。	

※　テストの予定

単元ごとにテストや小テストを実施予定です。

※　学習状況に応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。

通知表の付け方			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	生活や技術について基礎的な理解を深めるとともに、それらに係る知識・技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決を目指して評価・改善し、表現するなど適切に工夫・創造している。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し充実向上するために主体的に実践しようとしている。
評価方法	単元・小テスト 作品 実技テスト 振り返りシート　など	単元・小テスト レポート 作品 振り返りシート パフォーマンステスト　など	パフォーマンステスト レポート 振り返りシート 学習の整理 など